平成30年4月21日 市民タイムス

リュックサックを贈るOB会の西村会長（前列左）と、受け取る現役の山岳部部員

充実登山へリュック寄贈

松中・深志高山岳部OB会 創部100年の節目 後輩に

松本深志高校と前身の旧制松本中学校の山岳部OBでつくる「松中・松本深志高校山岳部OB会」（西村清亮会長）は20日、創部100年を記念して現役山岳部員に登山用の大型リュックサック11個を贈った。会員4人が同校を訪れて部員らにリュックサックを手渡し、後輩の活躍に期待した。

リュックサックは会員から寄付を募って購入した。オレンジ色の70リットルサイズで校名がプリントされている。西村会長は「これから春山・夏山シーズンが始まる。安全な登山を楽しんでほしい」と呼び掛け、部長の赤沼龍之介君（17）は「登山は初期費用がかかるのでありがたい。新入部員に使ってもらいたい」と感謝していた。

同校の山岳部は旧制松本中学校時代の大正7（1918）年から記録に残っているという。現在の部員は男女合わせて20人で、さらに少なくとも7人の新入生が入部する。5月の大型連休中に新入生の歓迎登山があり、寄付されたリュックサックも使われる予定だ。

（北條彩乃）